

表 1414 被嚢性腹膜硬化症(EPS)の既往 治療方法(新分類)別(腹膜透析の経験があるか現在施行している患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり(剥離手術既往あり、 ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往あり、 ステロイド使用歴なし)	あり(剥離手術既往なし、 ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往なし、 ステロイド使用歴なし)	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析	5,051	376	12	56	46	5,541	198	730	6,469
(%)	(91.2)	(6.8)	(0.2)	(1.0)	(0.8)	(100.0)			
Off-line HDF	205	15	1	1		222	7	28	257
(%)	(92.3)	(6.8)	(0.5)	(0.5)		(100.0)			
On-line HDF	1,036	89	2	8	15	1,150	27	131	1,308
(%)	(90.1)	(7.7)	(0.2)	(0.7)	(1.3)	(100.0)			
Push/Pull HDF	2					2	1		3
(%)	(100.0)					(100.0)			
ハイオフィルトレーション	7					7		2	9
(%)	(100.0)					(100.0)			
血液濾過	1					1			1
(%)	(100.0)					(100.0)			
血液吸着透析 (リクセル)	46	8	1		3	58	4	3	65
(%)	(79.3)	(13.8)	(1.7)		(5.2)	(100.0)			
血液吸着透析 (その他)									
(%)									
在宅血液透析	72	1				73		4	77
(%)	(98.6)	(1.4)				(100.0)			
腹膜透析 (CAPD)	3,092	23		2	1	3,118	34	1,869	5,021
(%)	(99.2)	(0.7)		(0.1)	(0.0)	(100.0)			
腹膜透析 (APD)	1,909	10			1	1,920	16	903	2,839
(%)	(99.4)	(0.5)			(0.1)	(100.0)			
腹膜透析 (CCPD)	768	3		1	1	773	17	291	1,081
(%)	(99.4)	(0.4)		(0.1)	(0.1)	(100.0)			
合計	12,189	525	16	68	67	12,865	304	3,961	17,130
(%)	(94.7)	(4.1)	(0.1)	(0.5)	(0.5)	(100.0)			
記載なし									
(%)									
総計	12,189	525	16	68	67	12,865	304	3,961	17,130
(%)	(94.7)	(4.1)	(0.1)	(0.5)	(0.5)	(100.0)			

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2014年調査